

焼き板

①準備物と貸出セット

・軍手 } 各自で用意。
・新聞紙 }

<鉄缶セット>と
<道具セット>を
各班に1つずつ
貸し出し。

活動が終わったら
数をそろえて返却。

<鉄缶セット>
鉄缶
細薪



<道具セット>

不燃布 ...10枚	アルミの箱
火ばさみ...10本	ポンド...1つ
たわし ...10個	ポスカ...6本



②着火の準備

～セットする～
○鉄缶の口を坂の登り方向に
向けて設置。

・新聞ボール ... 3個
・細薪 ... 全体の3分の2
※端材はここではまだ入れない。

①新聞ボールを鉄缶に入れ、
その上から細薪を全体的に
組み木にして置く。

②鉄缶の下口から新聞紙に火が
付くようにマッチで着火する。



新聞ボールと細薪(2/3)を入れる。
★残りの細薪(1/3)と端材は
取っておく。

板を焼く

③燃焼

細薪が勢いよく燃えだし
たら一気に焼き始める。

炎にしっかり板をあて、
板を燃焼させる。

注)火力が弱まらないように残り
の細薪や、端材を注ぎ足していく。



風向きに気を付けて
鉄缶を囲む

板を焼く

④消火

火が燃え移ったら、
火ばさみを上下に
細かく振って
消火する。

注)横に振ると板が火
ばさみをすり抜け、周
囲に飛んでいくおそれ
がある。



板を焼く

⑤鎮火

煙が出ている
箇所を不燃布で
しっかりと押さえ、
鎮火させる。



⑥焼き具合を調節

板の全体がくまなく
真っ黒になるまで、
燃焼→消火→鎮火
をくり返す。

○火ばさみを小まめに持ち替えて、
焼きむらができないようにする。
○角は燃焼が進みやすいので、焼き加減や
炎をあてる位置を調節する。(特に動物型)



⑦けずる

板の目(横)に沿って
たわしでこすり、
表面のススをしっかりと
けずり落とす。

注)板の目に沿わずに
こすると、縦にキズが
ついてしまう。

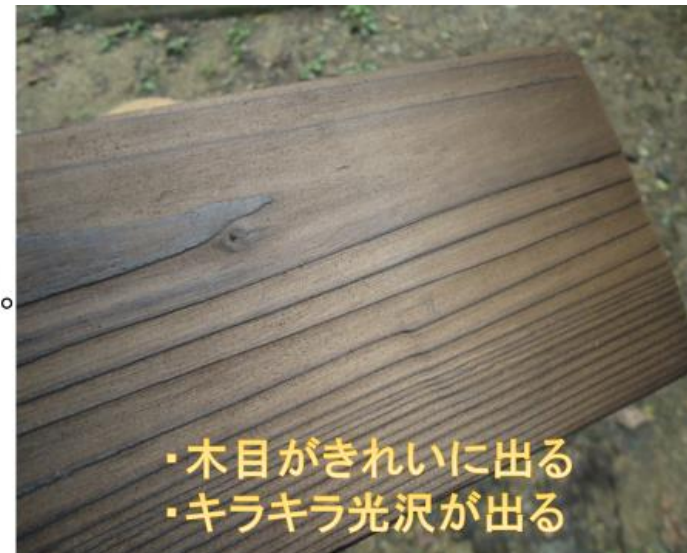


けずる作業は必ずしゃがんで行う

⑧板の完成

軍手で軽く
こすってススが
つかなければ
けずり作業完了。

仕上げに布で
表面を拭く。



・木目がきれいに出る
・キラキラ光沢が出る

⑨つける

①ヒートン
ひものため具
...2個

②目玉
ホトギス・イノシシ
...1個
ミズク...2個

③ヒモ...1本



目玉の裏に薄くポンドを塗り、 そっと圧着する

焼き板

⑩塗る

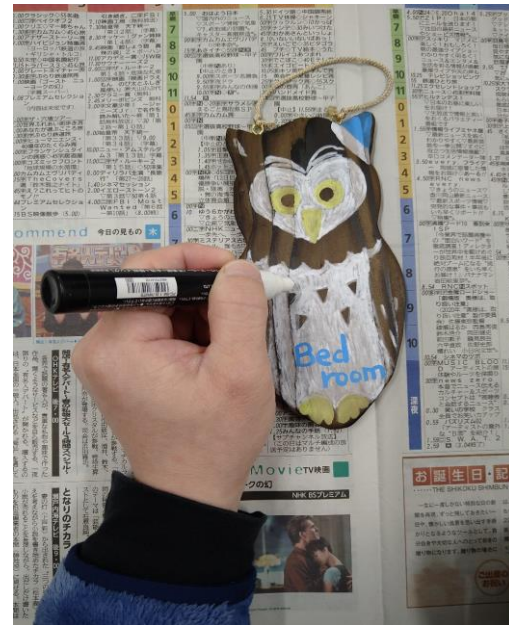
ポスカを使用して
デザインを描く。

※インクが薄くなってきた
場合は新しいのと交換

※作業の際には
新聞紙を敷く

ポスカで机やいす
を汚さない!

手や服、作業台につくと取れなくなるおそれあり。



⑪片づけと返却

鉄缶セット

○口の方を表にして返却。

道具セット

○道具の数を揃え、クラフト室前で、
職員からの点検を受ける。



返却の際は
この状態で!!

○不燃布の折り目、火ばさみの上下、
たわしをきちんとそろえて返却する。

⑫完成

完成した焼き板は新聞など
に包んで持ち運ぶようにする。

